

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 1

## 平成28年4月の安らぎ通信



東日本大震災では、遠くの高いビルも揺れました

ゆれの速さで、影響する建物が変わります

「周期」という地震の波が1往復するのにかかる時間でみると、長い周期のゆれはなかなか衰えずに遠くまで伝わりやすくなります。

地震に伴う地面の揺れと建物の揺れの周期がぴったり合うと、ゆれが次第に大きくなります。これを「共振」現象と呼びます。

☆建物は高さや構造によって揺れの周期が違う

木造家屋：0.1～0.5秒      20階建てのビル：1～2秒

50～60階建ての超高層ビル：4～6秒

(2016年3月5日 日本経済新聞記事から抜粋)



13都道府県、代替え庁舎なし      大規模災害時

水・食料備蓄、20府県で不十分

大規模災害時の代替え庁舎について3割にあたる13都道府県で定めていないことがわかりました。代替え庁舎を定めているのは34府県。

北海道、京都、奈良、三重の4道府県は代替え庁舎が必要と考えているが定めていません。

職員向けの水、食料の備蓄は20府県で十分ではありません。必要量を定め、確保しているのは約6割の27都道県。確保できていないのは山形、愛知、大阪、岡山など11府県。

(2016年3月8日 日本経済新聞記事から抜粋)



あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781

テーマは 「安らぎ」 地震への備えについて考えます。

安らぎ通信 NO. 2



## 避難なお17.4万人 各地で鎮魂の祈り

東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所事故による全国の避難者は約17万4千人。阪神大震災では発生から5年で入居者がゼロになった仮設住宅には、今も岩手、宮城、福島の被災3県で約5万7千人が暮らしています。

震災の死者は15,894人、行方不明者は2,561人。避難生活での体調悪化などで亡くなった震災関連死約3400人を合わせ犠牲者は2万1千人を超えています。

(2016年3月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 巨大地震へ備え 道半ば 都市部の防火進まず

「首都直下」など被害想定引き上げ

### 巨大地震の最悪被害想定と東日本大震災の被害

	首都直下地震	南海トラフ地震	東日本大震災
死者・行方不明者	2万3千人	32万3千人	1万8355人
経済被害	95兆円	220兆円	16.9兆円
帰宅困難者	800万人	1060万人	515万人

(2016年3月12日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 感震ブレーカー 新築時に設置

### 政府、密集市街地で普及促進 業界 自主基準を改定

政府は、地震の揺れを感知して電気を自動的に遮断する「感震ブレーカー」の普及に向けた促進策を発表。電気設備業者を通じて建て主に設置を求めます。

政府は2024年度までに密集市街地での設置率25%を目標に掲げています。

感震ブレーカーは電気ストーブに衣類や家具が落下するなどして起こる火災を減らすのに有効で、分電盤やコンセントに内蔵するタイプとします。

作動時に冷蔵庫や照明が消えることへの不安の声もあります。

(2016年3月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを [yamachuwood.com](http://yamachuwood.com)

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL06-6552-0781